

研究結果報告書

所属 浙江工商大学
役職 副教授
氏名 尹 虎

研究結果

研究テーマ：海洋環境保全の国際連携：海洋ゴミ問題をめぐる日中協力に関する考察

本研究は海洋ゴミ問題に対する日中両国の認識と対応策を検討し、両国間協力の現状と今後の課題を立証するものである。主に、本研究は次の四つの課題に焦点を当てながら、研究を進めてきた。

(1) 海洋ゴミ関連法律の整備、管理規制面における日中間の差異などについて詳しく検討し、日中協力の必要性を強調した。

(2) 「産学研」各分野での連携、データ情報ネットワークの構築、民間（NGOなど）の役割の強化、専門家グループ（シンクタンク）の役割の重視、多国間海洋協力の促進など海洋ゴミ問題の解決に役立てる日中協力の在り方について詳細な議論を展開した上、政策提言を行った。

(3) 海洋ゴミ問題に関する日中両国の対策と国際連携が海洋経済、海洋科学技術、海洋生態、海上安全などの分野に及ぼす影響を明らかにした。

(4) 海洋ゴミ問題に円滑に対処していくための最善の日中連携メカニズムについて議論を深めた一方、NEASPEC、NOWPAP、UNDPなどのプラットフォームでの多国間海洋環境保全協力の可能性についても検討を行った。

中国での海洋ゴミ問題に関する研究はまだ初期段階にあり、地域内の日中協力、国際連携の視点から海洋ゴミ問題を考察した同類研究は稀有であるといえよう。その意味で、本研究は関連研究に重要な研究資料と視点を提供できる学術価値の高いものであるだけでなく、海洋ゴミ問題に関する日中両国の相互理解を深まると同時に、海洋政策全体における日中間の交流と協力にも役立つと思われる。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

中国の海洋ゴミ監視と評価作業について・東亜海洋法研究会年会・2022年12月17日
・大連

中国の海洋ゴミ汚染対応における新モデルの構築について・海洋生態文明の
示範区建設への道・2023年5月27日・杭州

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

単著：「海洋ゴミ対策における日中韓協力に関する考察」『東亜経緯』2022年第2期

単著：「東アジアにおける海洋ゴミ処理をめぐる国際紛争に関する考察」『東亜経緯』
2023年第3期

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)

単著：『東アジアにおける海洋ゴミ汚染対策に関する研究』世界文化出版社 (ISBN:9
78-988-75466-6-5)、2023年9月